

インディアナ日本語学校便り

だいごう
第36号

令和7年2月8日事務所 317-255-1631 メール ijls@indiana-j-school.net

(HP) <http://www.indiana-j-school.net>

校長 森 勝義

〔児童生徒の作品集⑤〕

～3学期は1年間の学習のまとめ～

校長 森 勝義

オラフとクリスマスの夜

雪がしんしんふる夜に、オラフが笑顔でやってきた。

「クリスマスってすごいね！ツリーがキラキラかざりもいっぱい！」

赤いぼう子をかぶってみたけど、ちよつと大きくて目がかくれるサンタさんはどこにいるの？プレゼントトぶくろ、ぼくも運びたい！」

子どもたちと歌いながらジンジャークッキーを一しよに焼いて「これ、ぼくの鼻よりおいしいかも！」雪がつくったオラフの体もクリスマスの灯りでぽかぽかに、みんなで笑う幸せな夜。

雪

雪は冷たい、そしてふかふか。

まるで大量のかき氷だ。雪は白い、そしてふかふか。

ねころるべばまるでベッドだ。

4年1組 野作 優太

スキー

一面の銀世界、朝早く外へ出て、白くて高い山を風きって。楽しいな。

つかれたら、ロッジへ行つて、つかれがとれたら、もう一回。

しつぱいしても、もう一回。気がつけばもう終わり。

明日もたくさんすべりたい。

4年1組 加賀美 凜

クリスマスの夜

きれいなライト キラキラ 明るい町

みんなえがお 雪がつもり 暗くなる

おいしそうなにおい チキンにケーキ おいしそう

楽しい夜 えんとつからサンタさん

そーっと 静かに プレゼントを置く サンタさん さようなら

あさにプレゼントが ツリーの下に

楽しい 夜だった

4年1組 堀友 優衣

私はミヒヤエル・エンデ作の「モモ」を紹介します。

初めに、なぜこの物語を紹介しようと思ったかと言うと、厚い本なのに、文章がページにゆったりと配置してあって、読みやすいからです。私は、厚い本は文字がいっぱいあるので、読むのを後回しにしてしまいがちなんですが、「モモ」は、もう少し気軽に読めるような気がします。主人公は、モモという名前の孤児の女の子です。そしてモモの友達が時間を奪われてしまい、それを取りもどす物語です。私が特に気に入っているのは、カシオペアという30分先の未来が予測できるカメです。彼女は、モモと一緒に冒険します。

「モモ」は面白い話なので、ぜひ図書館で借りてみてください。

2月1日作品 土曜パラダイスで紹介

小学2年2組	後藤 楓	「おかあさん ベルとうばんを がんばって」
小学4年2組	後藤 茜	「お母さん ベル当番も がんばって」
小学4年1組	北山 雅彦	「立つ春の まばゆき光 なごり雪」
小学3年1組	本田 晃己	「つぎこそは はいくかダジャレ よまれたい」
小学6年2組	松島 想果	「春が来る 卒業式も もうすぐだ」
小学6年1組	古川 明伊那	「卒業式 最後の言葉 きんちょうだ」
	職員	「なつかしい 涙目で読む 学級日誌」
小学6年2組	板垣 幸太	「じきゅうそう くるしいけど がんばるぞ」
小学2年1組	山崎みのり	「さむすぎる 冬の朝は れいぞうこ」

ダジャレコーナー

中学1年1組	さむがり	「「おお寒！」と飲むココアは Awesome」
小学3年3組	松田 幸大	「兄弟二人そろったら さいきょうだい」

学校だよりに掲載

小学6年2組	川上悠里依	「卒業だ みんなの思い出 よみがえる」
小学4年1組	齋藤 晴太	「おおみそか ゆきだるまとけ かなしいな」
小学3年2組	北川 祐菜	「こわいのは おこる母より だまる母」
小学5年2組	入江 友	「おたよりに のってるはいく すごすぎる」
小学3年3組	近藤 彩希	「お兄ちゃん おたんじょうび おめでとう」
小学6年1組	羽田 康生	「悲しいな 卒業式まで あと7日」
小学4年1組	赤木 碧海	「まんげつは みんながげんき いいことだ」
小学6年1組	ラスピナ陽光	「あと7日 さみしいな」
小学4年1組	石田 洋華	「せつぶんが こわくていつも 祝えない」
	職員	「手と耳と 顔まで真っ赤 もう立春」
小学6年1組	6-1	「読まれるか ドキドキしながら まっている」
小学1年3組	白井 朝陽	「アイスを あいす」
小学5年1組	田邊 星翔	「にわに とりがいる にわとりー」
	Mえもん	「落ち込んで 顔を伏せている 友の肩 優しくなでて 無言のハッパ」
	ピカチュウ	「親友の 直筆の文字 懐かしむ 異国の地での ペンのぬくもり」
	ピカチュウ	「ピカチュウと ハイタッチして うれしいな」